

1. 理事会開催：9回（電磁を含む）

第1回理事会（令和2年5月15日）（ハイブリッド）

【承認された議題】

- 1) 令和元年度事業報告に関する件
- 2) 令和元年度収支決算に関する件
- 3) 令和元年度事業および収支決算の監査に関する件
- 4) 令和2年度定時総会開催に関する件
- 5) 次期監事の選任に関する件
- 6) 賛助会員新入会（日本歯科技工学会）に関する件

第2回理事会（令和2年5月25日）（ハイブリッド）

【承認された議題】

- 1) 定時社員総会進行に関する件

第3回理事会（令和2年6月23日）（電磁）

【承認された議題】

- 1) 「株式会社ヨシダ」の賛助会員入会に関する件

第4回理事会（令和2年9月15日）（ハイブリッド）

【承認された議題】

- 1) 常置委員会所掌のワーキンググループ設置に関する件  
新型コロナウイルス感染症対策チーム（将来構想委員会）  
専門歯科技工士制度検討ワーキンググループ（政策連携渉外委員会）
- 2) 一般社団法人日本医工ものづくりコモンズへの賛助会員入会に関する件

第5回理事会（令和2年9月24日）（電磁）

【承認された議題】

- 1) 「クインテッセンス出版株式会社」の賛助会員入会に関する件

第6回理事会（令和2年10月1日）（電磁）

【承認された議題】

- 1) 「一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ」の賛助会員入会に関する件

第7回理事会（令和2年11月10日）（電磁）

【承認された議題】

- 1) 「株式会社 Doctorbook」の賛助会員入会に関する件

第8回理事会（令和2年12月16日）（ハイブリッド）

【承認された議題】

- 1) 令和3年度事業計画（案）に関する件
- 2) 令和3年度予算編成（案）に関する件
- 3) 役員を選任に関する規則改正案に関する件
- 4) 常置委員会所掌のワーキンググループ設置に関する件  
歯科医学用語検討ワーキンググループ（政策連携渉外委員会）
- 5) 専門歯科技工士制度検討ワーキンググループ委員委嘱に関する件
- 6) 旅費に関する規程と申し合わせ（改正案）に関する件
- 7) オンライン出席謝礼に関する規程の新設に関する件
- 8) 日本学術会議協力学術研究団体加入に関する件
- 9) 令和2年度臨時社員総会招集に関する件

第9回理事会（令和3年3月3日）（ハイブリッド）

【承認された議題】

- 1) 令和3年度事業計画に関する件
- 2) 令和3年度予算に関する件
- 3) 会員種別に関する規程の改正に関する件

2. 社員総会開催：2回（定時社員総会，臨時社員総会）（ハイブリッド）

定時社員総会（令和2年5月25日）

【承認された議題】

- 1) 令和元年度事業報告に関する件
- 2) 令和元年度収支決算に関する件
- 3) 令和元年度事業および収支決算の監査に関する件
- 4) 次期監事の選任に関する件

臨時社員総会（令和2年3月3日）（ハイブリッド）

【承認された議題】

- 1) 役員の選任に関する規則の改正に関する件
- 2) オンライン出席謝礼に関する規程に関する件

3. 事業

1) 将来構想検討委員会

将来を見据えた歯科医学・歯科医療ビジョンを歯科の国家的戦略として策定、提言する事業として、東京都医工連携 HUB 機構との共催で「歯科医療・臨床ニーズオンラインマッチング会」を開催した。令和3年1月27日

新病名である口腔機能発達不全症の通称名として商標登録を出願した「ハビル」が、令和2年12月18日に登録商標として査定されたのを機に、子どもたちの口腔機能発達の重要性を社会に広く伝えるために「ハビル」を口腔機能発達支援のキャッチコピーとして子どもたちが力強く生きていくことをイメージできる言葉としての展開を目指し、商標登録検討ワーキンググループで動画を制作し、令和3年4月28日にYouTubeで公開した。（4つの商標権保有：オーラルハビル，オーラルハビリ，オーラルハビリス，ハビル）

（委員会開催）

第1回商標登録検討ワーキンググループ会議：令和2年12月8日（オンライン）

第2回商標登録検討ワーキンググループ会議：令和3年2月23日（オンライン）

当法人の賛助会員である「一般社団法人日本医工ものづくりコモンズ」が日刊工業新聞社と共催で開催する「医工連携オンラインピッチ」に参画した。

令和2年7月31日 講演者：住友理事長，小林専務理事

令和2年8月31日 講演者：川口副理事長，小林専務理事

令和2年9月30日 講演者：松村副理事長，小林専務理事

令和2年10月30日 講演者：小林専務理事

メディア株式会社（辻 啓延代表取締役社長）

勝又明敏教授（朝日大学歯学部歯科放射線学分野）

令和2年12月24日 講演者：小林専務理事

株式会社オプテック（柴田さおり氏）

令和2年2月26日 講演者：川口副理事長

2) 企画広報委員会：

ホームページを充実するための方策について検討し、本年度は英文サイトを構築した。歯科界の活性化と社会への貢献のために、当法人が実行する企画案を作成している。

（委員会開催）

第1回委員会：令和3年3月2日（オンライン）

3) 大型研究推進委員会

第4回大型医療研究推進フォーラム「未来の歯科医療を見据えた革新的な研究開発に向けて」を令和3年2月6日（土）にウェビナーによるオンラインで開催した。本フォーラムは、歯科界における開発シーズを発掘し育てるために、当法人が歯科医学・医療に携わる研究者を支援して、厚生労働省、AMED、PMDA などによる医療研究開発推進を追い風に、産官学連携を一層活発にすることで今後の歯科医療研究開発を格段に活性化させることができ、歯科医療改革につながるとして企画した。

（委員会開催）

第1回委員会：令和2年10月15日（オンライン）

4) 国際活動委員会

会員学会間の情報共有と、会員学会の国際活動に資する支援の在り方について展望することを目的に、「歯学領域における国際的人材育成と学会活動」と題したフォーラムを令和3年1月28日にオンラインで開催した。フォーラムの内容は報告書（日本語）としてまとめ、さらに英語の要約版をつけて、当法人ホームページ上に掲載した。

（委員会開催）

第1回委員会：令和2年6月12日（オンライン）

第2回委員会：令和2年10月8日（電磁）

第3回委員会：令和3年1月18日（オンライン）

5) 医療問題に関わる調査研究等の事業については、以下の委員会が担当し実施した。

① 政策連携渉外委員会

「歯科医療制度と歯科医療問題に関する資料収集および調査研究」に関する課題で、15題の応募課題を採択し、依頼課題については9題を依頼した。過年度を含め課題および報告書等はホームページに掲載されている。課題報告書と論文は、関係諸団体に提出する資料の学術的根拠として活用される。

（政策連携渉外委員会開催）

第1回：令和2年6月2日（電磁）

第2回：令和2年9月21日（電磁）

（専門歯科技工士制度検討ワーキンググループ会議）

第1回：令和2年11月25日

第2回：令和2年11月30日

第3回：令和3年3月31日

② 医療職連携委員会

歯科衛生士と歯科技工士が広告可能な専門性を獲得するための活動を支援する方策について協議した。

（委員会開催）

第1回：令和3年3月30日（オンライン）

③ 臨床研究支援委員会

本年度は「特定臨床研究支援ツールの作成」を行った。臨床研究法を正しく理解し、適切な研究プロトコル作成のために「特定臨床研究事例集」と「厚労省の臨床研究法に関するQ and A集の歯科医学会連合編ダイジェスト版」を作成した。「特定臨床研究事例集」は臨床研究法を理解しやすくするために、日本歯科医学会の分科会において過去投稿された論文中、記述内容から現在の法規に準じて考えると、特定臨床研究に該当する可能性のある研究、逆に判断に迷うところではあるが非該当考えられる研究を抽出し、その理由を解説した。また、臨床研究法に該当する可能性のある研究について、目的とその記述方法

から主に非該当の研究として記載できるかどうか検討し、可能なものについては非該当の記述方法とその理由を解説した。「厚労省の臨床研究法に関する Q and A 集の歯科医学会連合編ダイジェスト版」については平成 31 年 3 月 28 日までに公表された厚労省の臨床研究法 Q and A 集から、歯科に関係の深いものを抽出した。なお、令和 2 年度までに追加された内容をダイジェスト版に追記する作業を継続している。次年度はこれら作成物のホームページへの掲載、CD の作成やシンポジウムの開催を検討する。また、臨床倫理委員会の設置作業を予定している。

- 6) 医療安全に寄与する事業として、医療事故調査委員会が以下の事業を展開した。
  - 令和 3 年 2 月 13 日に（公社）日本歯科医師会と連携して令和 2 年度医療事故調査制度研修会を実施した。（オンライン）
    - （委員会開催）
    - 第 1 回：令和 2 年 10 月 7 日（オンライン）
  
  - 令和 3 年 3 月 17 日に開催された（一社）日本医療安全調査機構の協力学会説明会に砂田委員長がオンラインで出席した。
  
- 7) 歯科専門医制度の確立に参画する事業を歯科専門医制度委員会が担った。
  - 日本歯科専門医機構の構成社員の学会として、我が国の歯科専門医制度の確立事業に参画し、日本歯科専門医機構の活動に協力するとともに、日本歯科医学会連合所属の社員所属の社員学会の専門医制度を支援するための方策を検討するために、以下の活動を行った。
    - ① 日本歯科専門医機構主催の「新たな 5 つの専門医に関する意見交換会」に出席
    - ② 歯科専門医の連携方式における連合の役割の検討
    - ③ 日本歯科医学会連合の会員学会に対して「歯科専門医等の制度に関する調査」を実施し、調査結果を会員学会に公表
    - ④ 日本歯科医学会連合の研修に使用できる e-ラーニングシステムを構築
  
  - （委員会開催）
  - 第 1 回：令和 2 年 9 月 7 日（オンライン）
  - 第 2 回：令和 2 年 12 月 3 日（オンライン）
  - 第 3 回：令和 3 年 2 月 16 日（オンライン）
  - 第 4 回：令和 3 年 3 月 23 日（オンライン）
  
- 8) その他
  - ① 令和 2 年 11 月 26 日に住友理事長が（一社）日本医学会連合、（公社）日本薬学会、（一社）日本看護系学会協議会の代表者とともに「政府による日本学術会議第 25 期新規会員任命見送りによる学術の独立性毀損に関する声明」のビデオ撮影に参加した。
  - ② 令和 3 年 1 月 7 日にメディア株式会社（賛助会員）より「DentalSCOPE を使った研究事業の公募企画」について協力依頼があり、3 回の打ち合わせの結果、これに関するワーキンググループの設置を理事会に上程することとした。（所掌：将来構想検討委員会）
  - ③ （株）三菱総研研究所より「医療機器開発に」における律速段階解消に向けた学会連携のあり方に関するヒアリング調査」への協力依頼があり令和 3 年 2 月 16 日にオンライン会議を開催した。
  - ④ 令和 3 年 3 月 5 日にインテリジェント・サーフェス株式会社の切通代表取締役社長とオンラインで面談し、MPC ポリマーに関する情報交換を行った。